



プロジェクト「NINOMIYA」

活動紹介

石狩市美登位を拠点とし、多様な人を巻き込みながら薪づくりを実施。また、RISING SUN ROCK FESTIVALをはじめにイベントで子どもから大人まで多くの人に向けて薪割り体験を提供しています。そして作成した薪を販売、売り上げの一部を子ども向け森林環境教育プログラムにあてています。

2019年総括

今年度は、活動の見直しと薪の生産体制整備を行いながら、新たな展開に挑戦しました。薪生産の事業連携によって、生産の安定と新たな価値を生むことができる可能性を大いに感じました。また、それらの動きによって本事業に関わる方との繋がりを増やすことができた1年でした。(みーる)

目的・背景

豊かな自然環境を後世に引き継ぐためには、子ども達を対象に環境教育を提供することは不可欠である。しかし、受け入れコストを誰が負担するのかという慢性的な課題を抱えており、実際に提供を受けることは困難なことが少なくない。

そのため、本事業では薪割り体験を軸とした薪の生産・販売を実施。その体験の指導者を育成することで、薪の販売資金および育成した人材を活用し、次世代を担う子どもを対象に安心・安全な薪割り体験を通して、持続的な森林環境教育プログラムを提供することを目的とする。

実施内容

活動・回数・参加人数

- ・薪割り体験活動 (50回)
- ・イベントでの薪割り体験及び子ども向け木育プログラム
- ・RSRみんなで薪割りブース
- ・みんなで木育inばんけい
- ・WONDER FOREST
- ・GONBeats
- ・森もりキャラバン
- ・その他イベント運営補助
- ・コープの森植樹祭
- ・薪割り指導者研修の実施

参加ボランティア数 145人
(ezorock会員)
薪割り体験提供者数
大人260人、子ども238人

成果

今年度は薪の生産の安定化と新たなステークホルダーの巻き込みを図るため、薪割りの指導者育成研修とその研修の修了者を対象に薪の生産委託を始めた。結果、2件の就労継続支援事業施設にて利用者の仕事として薪の生産・備蓄の連携事業が開始した。また、都市部札幌において増加する薪の需要に合わせて、郊外より薪を仕入れ、都市部の販売スタイルに合わせた販売事業も開始した。薪の生産を通じて、ステークホルダーに新たな付加価値を提供するモデルを目指す本事業にとって、大きな転換の年となった。

声

薪割り参加者(学生)より

活動が自然に触れに行ききっかけになりました。割れた時は快感で、運動不足解消にもなりました。次は材出しにも参加して、実際に森を見てみたいと思いました。

連携事業所担当者より

薪割りを体験した利用者さんはとても楽しかったと晴れ晴れとした顔をしていました。達成感の他に、分担により多様な人が作業に参加できることなどを魅力に感じました。野外で働く事で精神的に安定するため、体制を整えていきたいです。



占冠村からの薪の仕入れ



イベントでの薪割り体験提供



薪割り指導者育成研修



就労継続支援事業施設との連携